



豊かな時刻を

「挑戦」「創造」「貢献」「誇り」

中沢中学校 学校だより
令和8年度 第4号
令和8年7月17日



スポーツを通じて平和を願う 市総体とワールドカップから

校長 山田 裕康

一学期も最終週となり、夏休みを迎える前に生徒、保護者の方と三者面談を実施しました。保護者の方々には、おいそがしい中でお越しいただき御礼申し上げます。生徒たちの1学期の成長、2学期に向けて期待することをお話しました。皆様のご意見を今後の教育活動に生かしてまいります。この時期は、市の総合体育大会が真っ盛りです。ここまで私も生徒たちの熱い戦いを観戦してきました。結果は様々でしたが、どの会場でも最後までやり抜こうとする生徒たちの姿に胸を打たれました。勝利を目指してがんばったことは、必ず今後の生活に生きてきます。夏休みに入ってからソフトテニスの団体戦、男子バスケットボール部の準決勝があります。健闘を祈ります。

さて、サッカーのワールドカップがいよいよ佳境を迎えました。どこの国が優勝するか、7月20日の決勝戦が楽しみです。日本は惜しくもベスト32で負けてしまいましたが、世界一を目指せる力を持っていることを示してくれました。日本には海外で活躍する選手も多く、これからが期待できそうです。各国の人々が熱狂するワールドカップを見ながら、この大会が目指すものはなんだろうと考えてみました。FIFA(国際サッカー連盟)は「サッカーを通じて世界を一つにすること」を基本とし、①サッカーの世界的普及と発展、②すべての人のためのサッカー、③誠実さ・フェアプレー・人権の尊重、の3本柱を掲げています。サッカーを通じ、差別や争いのない世界を創り出そうとするのが目的なのでしょう。サッカーも、もとは争いの一つだったそうですが、ルールが定められ、スポーツとして成立したのです。ダンスの「ブレイキン」もニューヨークの若者たちが暴力ではなく、音楽やダンスで自分を表現し、争いを解決する手段として発展させたものだそうです。いずれにしても、戦争でなく平和な手段で競い合い、国、人々が結びついていく、スポーツにはそんな力があると思えるのです。戦禍に苦しむ人々に平和が訪れ、誰もが安心してスポーツをしたり、見たりできる世界になることを願いたいものです。



道徳の授業 ～犯罪に巻き込まれないために～

栃木でのトクリュウ事件で相模原の高校生が関与していた事を受け、犯罪防止をねらいとした道徳の授業を実施しました。SNSを通じての勧誘や、実際に罪を犯してしまった事例のビデオなど、リアルな内容に生徒たちは見入っていました。その後の話し合いや事後の感想を書く場面で、どの学年の生徒も真剣に授業に臨み、絶対に犯罪に手を染めない決意を新たにしました。合わせて夏休み中の生活についても注意点を説明いたしました。保護者、地域の皆様に置かれましても、生徒たちをあたたく見守って頂きますよう、よろしくお願い致します。

